

平成29年度 久留米市保健所事業計画

健康推進課

課名	健康推進課		
チーム名等	母子保健チーム	健康増進チーム	難病・在宅医療チーム
通年事業	<ul style="list-style-type: none"> ○乳幼児発達相談（ことばの相談 12回/年・気になるお子さんの相談 45回/年） ○発達フォロー支援教室（親子のびのび教室 36回/年） ○女性の健康相談（6回/年） ○低出生体重児教室（リトルにこにこ親子教室 10回/年） ○離乳食教室（はじめてクラス 24回/年・ステップクラス 9回/年） ○プレパパママ教室（28回/年）、すこやかマタニティ（35歳以上初産 3回/年） ○ママパパきもち楽々相談（22回/年） ○幼児安全法講習会（5回/年） ○未熟児養育医療の給付（随時） ○育成医療の給付（随時） ○不妊に悩む方への特定治療支援事業（随時） ○受胎調節実施指導員指定事業（随時） ○母子健康手帳の交付（随時） ○妊婦健診（個別） ○妊婦歯科健診（個別） ○乳幼児健診（集団・個別）（4か月児・10か月児・1歳6か月児・3歳児） ○乳幼児健診未受診者フォロー（4か月児・10か月児・1歳6か月児・3歳児） ○1歳児歯科健診（12回/年） ○妊娠ほっとライン（随時） ○妊娠期からのケアサポート事業 ○思春期保健対策事業 ●産後ケア事業（6月～） ●産前産後サポート事業 ●産婦健康診査（10月～） 	<ul style="list-style-type: none"> ○お腹まわりスッキリ相談 ○まちかど栄養・糖尿病予防健康相談 ○総合健康相談 ○特定健康診査・特定保健指導 ●各種がん検診（胃がんリスク検査拡充を含む） ○生活習慣病予防健康診査 ○結核検診（65歳以上） ○歯周疾患検診 ○健診普及啓発事業 ○重症化予防支援事業 ○血圧改善支援事業 ○校区等ウォーキング事業支援 ○ラジオ体操推進事業 ○すこやか推進会育成（助成） ○原爆被爆者援護事業 ○熱中症対策（6月～9月） ○健康のびのびプロジェクト事業（再掲）各種がん検診、特定健診保健指導、ラジオ体操推進事業、校区等ウォーキング事業支援、健康づくり応援店の促進、健康づくりサポーター養成など ○禁煙週間啓発事業 ○1歳児栄養相談（毎月） ○栄養相談（毎月第1木曜） ○専門栄養教室（未熟児） ○ゆったり子育て相談（毎月） ○離乳食教室 ○特定給食施設巡回指導（6～2月） ○食品の栄養成分表示の指導 ○調理師免許申請等受付 ○健康づくり応援店の促進 ○高校生・大学生の食育推進 ○食生活改善推進員協議会育成（助成） ○たばこ対策事業 ○地域健康づくりリーダー養成教室・食生活改善推進員養成教室（6～2月） ○すこやか推進員養成教室（5～7月） ○食生活改善推進員協議会フォロー教室（6～2月） 	<ul style="list-style-type: none"> ○特定医療費（指定難病）申請受付 ○在宅人工呼吸器使用患者支援事業申請受付 ○難病電話相談・来所相談 ○難病患者訪問 ○難病従事者研修会 ○関係者ケア会議出席 ○筑後ブロック難病担当者会議（年2回） ○久留米大学病院難病支援調整会議（年4回） ○事例検討会 ○肝炎治療特別促進事業申請受付 ○先天性血液凝固因子障害等治療研究事業申請受付 ○石綿健康被害救済給付事業申請受付 ○在宅医療推進事業（電話・来所相談、出前公開講座） ○在宅医療・介護連携推進協議会 ●在宅医療・介護連携推進事業（退院調整ルール策定、在宅医療介護連携推進に係る課題分析） ○小児慢性特定疾病医療給付（随時） ○小児慢性特定疾病審査会（毎月） ○小児慢性特定疾病児童等自立支援事業 ●小児慢性特定疾病児童等レスパイト入院事業

●は新規・拡充事業（※年間スケジュール予定は次ページ参照）

課名		健康推進課		
チーム名等		母子保健チーム	健康増進チーム	難病・在宅医療チーム
29年	4月	○産前産後サポート事業(開始)	○市民ラジオ体操の集い(サブ会場として、シティプラザで同時開催) ○調理師試験願書配布	
	5月	○母子保健関係者研修会	○まちかど栄養・糖尿病予防健康相談(～3月) ○世界禁煙デー啓発街頭キャンペーン ○禁煙週間啓発事業(5月31日～6月6日)	○難病相談従事者等研修会
	6月	○多胎児育児支援教室 ○産後ケア事業(開始)	○特定健康診査 (40～74歳(75歳誕生日前日まで))(～3月) ○生活習慣病予防健康診査 (35～39歳及び生活保護受給者等)(～11月) ●各種がん検診、結核検診(～11月、レディースデー8日間うち午後4日、胃がんリスク検査拡充) ○特定保健指導(～3月) ○歯の健康フェスタ ○重症化予防支援事業 ○特定給食施設等研修会 ○地域健康づくりリーダー育成(～2月)	○難病患者等ヘルパー研修会(第1回)
	7月	○思春期保健意見交換会		○特定医療費(指定難病)継続手続き集中受付
	8月		○調理師研修会 ○特定給食施設等研修会 ●がん検診未受診者勧奨 ●夏期巡回ラジオ体操会開催(8/15) ●健康に関する実態調査実施	○在宅医療・介護連携推進協議会(第1回) ○小児慢性特定疾病ピアカウンセリング
	9月	○乳幼児健康診査あり方検討会 ○産科医療機関連携会議 ○産婦健康診査(開始)	○コールセンターによる特定健診未受診者勧奨事業(～11月) ○食生活改善推進員協議会リーダー育成フォロー研修(～2月) ○血圧改善支援事業(～3月)	○難病患者等ヘルパー研修会(第2回)
	10月	○母子保健関係者研修会	○市民ラジオ体操の集い&早朝1万歩ウォーク(サブ会場として、シティプラザで同時開催) ○がん検診啓発街頭キャンペーン	○小児慢性特定疾病継続手続き集中受付(10～11月) ○在宅医療に関する市民公開講座 ●小児慢性特定疾病児童等レスパイト入院事業
	11月	○発達育児支援教室	○健康くるめ21フェスタ(がん啓発・女性がん検診) ○食育啓発事業(久留米大学学園祭) ○くるめ食育フェスタ	○難病患者・家族会 ○在宅医療・介護連携推進協議会(第2回)
12月	○母子保健関係者研修会	○お腹まわりスッキリ相談(～3月)		
30年	1月			○難病訪問診療
	2月		○特定給食施設等実態調査 ○地域活動栄養士研修会	○難病訪問診療
	3月	○産科医療機関連携会議 ○多胎児育児支援教室 ○乳幼児健康診査あり方検討会	○特定給食施設等研修会	○在宅医療・介護連携推進協議会(第3回) ○難病患者の在宅療養生活に関する検討会
備考				

●は新規・拡充事業

平成29年度 久留米市保健所 新規・拡充事業

担当課名(担当チーム名)	健康推進課(母子保健チーム)
事業名	産前・産後サポート事業
<p>1 目的</p> <p>多胎妊娠は、妊娠期の異常の発生率も単胎妊娠に比べると高く、母親は妊娠中から出産への不安を抱きやすいと言われており、「子ども虐待による死亡事例等の検証結果等について」(第1次～第8次報告)を基に行った分析結果において、多胎児は単胎児に比べて、およそ2倍(1.8)～3倍(2.7)虐待死の発生頻度が高まると推定されている。</p> <p>しかしながら、死亡事例に占める0か月虐待死の割合においては、単体児が48%であることに對して多胎児は0%であったことは、多胎児が単体児に比べて医学的リスク等が高いことなどにより、入院中から医師や看護師等の医療職による継続的な保健指導がなされていること要因のひとつであることが指摘されており、早期支援の重要性が示唆されているところである¹⁾。</p> <p>また、多胎児アンケート調査²⁾の結果からは、エンゼル支援訪問事業や保健師による個別指導などの専門職の支援だけでなく、多胎育児経験者による支援を望む意見も挙げられている。</p> <p>これらの観点から、市民団体である「ツインズクラブ久留米」に事業委託し、多胎妊婦へ對する産前から支援を拡充するもの。</p> <p>1) http://jamba.or.jp/archives/2863 : 一般社団法人日本多胎支援協会 2) 久留米市多胎児の事業に関するアンケート調査:2016</p> <p>2 事業概要</p> <ul style="list-style-type: none"> ◆対象者 多胎妊産婦 ◆事業内容 多胎児育児経験者が、対象者の自宅等を訪問し、子育てのアドバイスを行うなど、身体的、精神的負担軽減を図る。 ◆委託先 市民団体多胎児育児サークル ツインズクラブ ◆実施方法 <ul style="list-style-type: none"> ①病院訪問 <p>協力機関に入院している多胎妊婦(家庭)に対して、院内デイケア室等を利用したグループミーティングやベットの訪問を実施。</p> ②産前・産後訪問 <p>多胎妊婦または産後4か月以内の多胎産婦の自宅等を訪問。</p> 	

平成29年度 久留米市保健所 新規・拡充事業

担当課名(担当チーム名)	健康推進課 (母子保健チーム)																		
事業名	産後ケア事業																		
<p>1 目的</p> <p>出産のための入院は、通常産後5～6日であり、医療的な入院には該当しないが、産後の心身の回復が十分でなく、退院後の育児等に不安がある産婦は、自費にて入院延長して保健指導や育児指導を受けることにより、育児手技の獲得や育児不安の軽減につながるが、経済的負担により断念する場合もある。</p> <p>また、特に産後うつに代表されるような心身の不調を呈する産婦や、母子家庭、その他家族の支援が得られにくい場合は、児に対する十分な養育ができないなどの理由から虐待につながる可能性が指摘されていることから、産後心身の不調を呈しやすい時期において、保健指導や育児指導などの支援を受けることができるような環境づくりを行い、産後も安心して子育てできるよう支援体制を確保する。</p> <p>2 事業概要</p> <p>◆対象者 産後4か月未満の産婦</p> <p>◆事業内容 心身の不調又は育児不安がある者及び、家族等の支援が十分に得られない者に対して、以下の事業を提供する。(ただし、医療機関での加療が必要な者は除く)</p> <p>1) 宿泊型 病院、診療所、助産所の空きベッドを活用することにより利用者を宿泊させ、休養の機会を提供するとともに、心身のケアや育児サポートなどの支援を実施する。</p> <p>2) デイサービス型 日中、実施施設において、来所した利用者に対して、個別あるいは集団で心身のケアや育児サポートなどの支援を実施する。</p> <p>◆委託先 市内の病院、診療所及び助産所</p> <p>◆利用者負担金</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>メニュー</th> <th>徴収する金額</th> <th>区分</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="3">ショートステイ</td> <td>4,800円/1泊2日</td> <td>A(市民税課税世帯)</td> </tr> <tr> <td>1,000円/1泊2日</td> <td>B(市民税非課税世帯)</td> </tr> <tr> <td>0円/1泊2日</td> <td>C(生活保護世帯)</td> </tr> <tr> <td rowspan="3">デイサービス</td> <td>2,000円/日</td> <td>A(市民税課税世帯)</td> </tr> <tr> <td>300円/日</td> <td>B(市民税非課税世帯)</td> </tr> <tr> <td>0円/日</td> <td>C(生活保護世帯)</td> </tr> </tbody> </table> <p>◆利用可能回数 7日を限度として利用可能</p>			メニュー	徴収する金額	区分	ショートステイ	4,800円/1泊2日	A(市民税課税世帯)	1,000円/1泊2日	B(市民税非課税世帯)	0円/1泊2日	C(生活保護世帯)	デイサービス	2,000円/日	A(市民税課税世帯)	300円/日	B(市民税非課税世帯)	0円/日	C(生活保護世帯)
メニュー	徴収する金額	区分																	
ショートステイ	4,800円/1泊2日	A(市民税課税世帯)																	
	1,000円/1泊2日	B(市民税非課税世帯)																	
	0円/1泊2日	C(生活保護世帯)																	
デイサービス	2,000円/日	A(市民税課税世帯)																	
	300円/日	B(市民税非課税世帯)																	
	0円/日	C(生活保護世帯)																	

担当課名(担当チーム名)	健康推進課 (母子保健チーム)
事業名	産婦健康診査
<p>1 目的</p> <p>出産後の母親が育児への不安や重圧によって、精神的に不安定になる「産後うつ」は出産後の女性の10人に1人が発症するといわれている。厚労省研究班が12年から14年度に実施した調査では、初産の場合、うつ状態など精神的な不調に陥る人は産後2ヵ月ごろまでに多く、特に産後2週間の時期に発症のリスクが高いとの報告がされている。</p> <p>産後うつ予防のためには、産婦健診を実施し、母体の身体的機能の回復や授乳状況等の把握をすることにより、産後うつ心身のケア及び児の健全な発育を促すことが重要である。</p> <p>また、健診の結果、支援が必要な母子の心身のケアや育児サポート等の事業に繋げるなど産後の支援を強化することにより、妊娠期から子育て期にわたる切れ目のない支援の充実を図るもの。</p> <p>2 事業概要</p> <ul style="list-style-type: none"> ◆対象者 産婦 ◆助成内容 産後2週間健診・1か月健診の健診2回分に係る費用について助成 ◆委託先 医師会(産婦人科)・助産所 ※委託医療機関以外は償還払い ◆助成額 1回の健診 約5,000円 <p>※平成29年10月から実施予定</p>	

平成29年度 久留米市保健所 新規・拡充事業

担当課名(担当チーム名)	健康推進課 (健康増進チーム)
事業名	「第2期健康くるめ21」計画中間評価
<p>1 目的</p> <p>本市では、平成25年4月に「健康寿命の延伸」を基本目標とする「第2期健康くるめ21」計画を策定し、生活習慣病の発症予防と重症化予防の徹底をはじめ、さまざまな施策を展開している。</p> <p>本計画の計画期間は、平成25年度から平成34年度までの10年間であり、5年目となる平成29年度は中間評価の実施年度となる。このため、中間評価に必要な現状把握・分析を行い、本計画の効果的な推進に繋げるもの。</p> <p>2 事業概要</p> <ul style="list-style-type: none"> ◆事業内容 本計画で設定する54評価指標のうち、15指標について、市民の取り組み状況のアンケート調査を実施 ◆対象者 20歳以上の市民3,000人(予定) ◆調査方法 郵送によるアンケート調査を業務委託により実施 ◆委託内容 調査準備・送付、集計、分析 <p>※平29年8月頃の調査を予定</p>	

平成29年度 久留米市保健所 新規・拡充事業

担当課名(担当チーム名)	健康推進課 (健康増進チーム)
事業名	ラジオ体操推進事業 (夏期巡回ラジオ体操会開催)
<p>1 目的</p> <p>本市では、平成27年度から「健康のびのびプロジェクト事業」をスタートさせ、「健診受診率の向上」や「身体活動・運動の推進」、「食環境の整備」など、生活習慣病の一次予防に重点を置いた取り組みを一体的且つ重層的に進めている。</p> <p>こうした中、「身体活動・運動の推進」においては、誰でも、いつでも、どこでも、手軽に取り組めるラジオ体操の普及を図ることが重要である。</p> <p>このため、株式会社かんぼ生命保険、NHK及びNPO法人全国ラジオ体操連盟との共催により「夏期巡回ラジオ体操会」を開催し、「ラジオ体操のまち久留米」を市内外に発信するとともに、広く市民にラジオ体操の普及・啓発を図るもの。</p> <p>2 事業概要</p> <ul style="list-style-type: none"> ◆開催日時 平成29年8月15日(火) 午前6時から ◆開催場所 久留米大学御井学舎グラウンド(雨天時:同大学みいアリーナ) ◆参加予定者 3,000人(予定) ◆開催方法 株式会社かんぼ生命保険、NHK及びNPO法人全国ラジオ体操連盟が主催し、久留米市は共催により実施 	

平成29年度 久留米市保健所 新規・拡充事業

担当課名(担当チーム名)	健康推進課 (健康増進チーム)
事業名	がん検診未受診者勧奨事業
<p>1 目的</p> <p>長年死因の第1位である、がんの早期発見・早期治療を効果的に図るためには、その受診率を向上させることが重要であり、「第2期健康くるめ21」計画の基本目標に掲げる「健康寿命の延伸」を実現する上でも、その取り組みを進めていくことは不可欠である。</p> <p>こうした中、本市のがん検診受診率は、伸び悩みの状況にあることから、平成29年度においては、がん検診未受診者を対象者としてハガキによる個別勧奨を実施し、多くの未受診者へ、効率的に個別アプローチを行うもの。</p> <p>2 事業概要</p> <ul style="list-style-type: none"> ◆対象年齢 国の補助事業に基づき、20歳～69歳の女性及び40歳～69歳の男性 ◆勧奨方法 対象年齢の未受診者へ圧着ハガキを作成し、郵送する ◆発送枚数 35,000件(予定) ◆発送時期 平成29年8月を予定(例年、受診者が最も少なくなる月) 	

平成29年度 久留米市保健所 新規・拡充事業

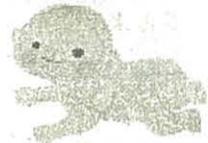
担当課名(担当チーム名)	健康推進課 (健康増進チーム)
事業名	胃がんリスク検査の拡充
<p>1 目的</p> <p>長年死因の第1位である、がんの早期発見・早期治療を効果的に図るためには、その受診率を向上させることが重要であり、「第2期健康くるめ21」計画の基本目標に掲げる「健康寿命の延伸」を実現する上でも、その取り組みを進めていくことは不可欠である。</p> <p>こうした中、本市のがん検診受診率は、伸び悩みの状況にあり、とりわけ「胃がん」の受診率は、罹患者数が多い、がんの一つであるにもかかわらず、他のがん検診と比べて最も低く止まっている状況にある。</p> <p>こうした状況を改善するためには、「胃がん検診」の受診率向上を目的に実施する「胃がんリスク検査」の対象者を拡大することが効果的である。そのため、他の世代と比較し受診率が低迷している働き盛り世代に、胃がんリスク検査の対象者を拡大し、「胃がん検診」の受診率向上を図るとともに、胃がんの予防、早期発見・治療に繋げることにより、医療費の適性化を図るもの。</p> <p>2 事業概要</p> <ul style="list-style-type: none"> ◆対象年齢 現行41歳に加えて、46歳・51歳に検査対象年齢を拡大する ◆対象者数 約12,000人(拡充に伴い、約8,000人増) 	

担当課名(担当チーム名)	健康推進課 (難病・在宅医療チーム)
事業名	小児慢性特定疾病児童等レスパイト入院事業
<p>1 目的</p> <p>小児慢性特定疾病児童等及びその家族が地域で安心して暮らすことができるよう、小児慢性特定疾病児童等の適切な医療を確保し、もって小児慢性特定疾病児童等の療養生活の改善を図る。</p> <p>2 事業概要</p> <p>◆対象者 下の①、②両方の要件を満たす者（詳細は今後県内で統一）</p> <p>①久留米市に住所を有し、在宅療養中の小児慢性特定疾病児童等であって、人工呼吸器等装着者または重症患者の認定がある者</p> <p>②家族等の在宅介護者の疾病や疲労、出産や冠婚葬祭、兄弟児の必要な介護が受けられなくなり、在宅療養の継続が一時的に困難な状態になる者</p> <p>◆事業内容 医療的ケアを要する在宅療養中の小児慢性特定疾病児童等の家族等の介護者が必要とするときに、医療機関やその他適切な場所において、小児慢性特定疾病児童等を一時的に預かり、必要な療養上の管理、日常生活の世話、その他必要な支援</p> <p>◆利用期間 年間14日上限</p> <p>◆委託先 事業委託契約を行う医療機関（市外であっても県内であれば可）</p>	

平成29年度 久留米市保健所 新規・拡充事業

担当課名(担当チーム名)	健康推進課 (難病・在宅医療チーム)
事業名	在宅医療・介護連携推進事業
<p>1 目的</p> <p>①退院調整ルール策定 病院から在宅へ患者が退院するにあたって、病院と地域、また地域における医療と介護の連携を進めることで、患者の療養生活の質の向上を図るとともに、ひいては病院から在宅へ移行できる患者数の増加を図る。</p> <p>②在宅医療介護連携推進に係る課題分析 在宅医療介護連携を進めていくにあたって、久留米市内の在宅医療介護の需要と供給等の将来推計とそれに基づく施策の方向性、スケジュールを医療・介護関係者等と行政で共有する必要があるため、研究機関への委託により、在宅医療介護連携に係る課題分析等を実施する。</p> <p>2 事業概要</p> <p>◆事業内容</p> <p>①・病院からケアマネジャーに入退院時の情報を適切に繋ぐための実情に応じた退院調整ルールの作成、共通様式の作成。 ・退院調整ルール作成後は、市全体で取り組めるよう、医療・介護関係機関に冊子の作成、配布、及び取組みの検証。</p> <p>②久留米市（市全体及び各日常生活圏域）における在宅医療・介護の需要と供給の推計及びそれらに基づく施策の方向性等の整理について、地域医療構想を踏まえ、レセプト情報や市の地域資源情報を活用して研究機関に委託予定。</p>	

課名		地域保健課				
チーム名		地域保健チーム				
		地域保健活動		保健センター管理・運営		
通年事業		<p>【地域訪問活動】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○保育園・幼稚園・子育て支援センター ○小・中学校 ○医療機関(産科・小児・内科) <p>【地域づくり関係】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○校区コミュニティ協議会 ○民生委員児童委員協議会 ○小・中学校における事例連携会議 ○地域包括支援センター連絡会議 ○御井子育てネット ○赤ちゃんふれあい体験学習(三潞中) ○支え合い推進会議(西国分・青峰・三潞) <p>【保健職人材育成】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○健康福祉部研修委員会 ○保健職人材育成計画推進ワーキングチーム会議 	<p>【母子保健分野】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○健康相談(母子サロン等) ○健康教育(保育園保護者会等) ○乳幼児(集団)健診及びフォロー(未受診・受診後) ○妊産婦・新生児訪問 ○ゆったり子育て相談会 <p>○連携会議出席(月1回)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・要保護児童対策地域協議会実務者会議(要対協) ・家庭子ども相談課と健康推進課との連絡会議(3課会議) ・こんにちは赤ちゃん事業定例会 	<p>【健康増進分野】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○生活習慣病重症化予防支援事業 ○健康相談(校区イベントなど) ○健康教育(校区、保育園、幼稚園、小・中学校等) ○健康くるめ21計画啓発 ○けんしん啓発(がん検診・特定健診等) ○熱中症予防啓発 <p>【庁内会議出席】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○地域包括ケアシステム構築プロジェクト ○老人ホーム入所判定委員会 <p>【感染症分野】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○新型インフルエンザ等発生時の住民接種WG 	<ul style="list-style-type: none"> ○南部保健センターに係る管理運営業務 ○各地域保健センター(城島、北野、田主丸、三潞)の予算執行に係る進捗管理 ○城島保健福祉センター(城島げんきかん)及び北野保健センター(コスモすまいる北野)における平成27年度指定管理者による管理運営(平成27～31年度) ○(仮称)中央保健センター整備に係る検討 	
29年	4月					
	5月	○人材育成オリエンテーション				
	6月	○人材育成チーム会議 ○人材育成プリセプター集合研修		○がん検診・特定健診啓発(6～11月)	○指定管理者によるモニタリング報告(利用者アンケート等)、現地確認(改善指示等)①	
	7月					
	8月					
	9月		○母子訪問指導員会議	○生活習慣病・重症化予防事業(～3月)	○指定管理者によるモニタリング報告(利用者アンケート等)、現地確認(改善指示等)②	
	10月			○人権フェスタ健康相談		
	11月	○保健職全体研修(前期)				
12月				○指定管理者によるモニタリング報告(利用者アンケート等)、現地確認(改善指示等)③		
30年	1月					
	2月					
	3月	○保健職全体研修(後期)	○母子訪問指導員会議(2回目)	○地域保健活動報告会	○指定管理者によるモニタリング報告(利用者アンケート等)、現地確認(改善指示等)④	
備考						



ゆったり子育て相談会のご案内

「ゆったり子育て相談会」では、お子さんの身体計測（身長・体重）を行い、食事（離乳食）、健康に関する相談などをお受けしています。

★ 予約は不要です。お子様と一緒に直接会場にお越しください。

★ 持ってくる物：母子健康手帳

対象	会場／受付時間	日程		お問い合わせ先
3歳までのお子さん 	市役所本庁舎 2階くろみホール (※会場変更の際は、当日掲示にてお知らせします。) 9:30～11:00	4月10日(月)	10月11日(水)	久留米市保健所 地域保健課 TEL 0942-30-9033 FAX 0942-30-9833
		5月10日(水)	11月8日(水)	
		6月7日(水)	12月6日(水)	
		7月12日(水)	H30年1月10日(水)	
		8月9日(水)	2月7日(水)	
		9月13日(水)	3月7日(水)	
就学前までのお子さん 	南部保健センター (上津市民センター西側) 13:30～15:00	4月26日(水)	10月25日(水)	南部保健センター TEL 0942-21-0056 FAX 0942-21-0030
		5月24日(水)	11月22日(水)	
		6月28日(水)	12月13日(水)	
		7月26日(水)	H30年1月24日(水)	
		8月16日(水)	2月21日(水)	
		9月27日(水)	3月14日(水)	
	田主丸保健センター 13:30～15:00	5月9日(火)	11月7日(火)	田主丸総合支所 市民福祉課内 TEL 0943-72-2112 FAX 0943-72-3819
		7月18日(火)	H30年1月9日(火)	
		9月26日(火)	3月20日(火)	
	北野保健センター (コスモすまいる北野) 13:30～15:00	4月25日(火)	10月3日(火)	北野総合支所 本館1階(保健師事務室) TEL 0942-23-1307 FAX 0942-78-6482
		6月6日(火)	12月5日(火)	
		8月1日(火)	H30年2月6日(火)	
	城島保健福祉センター (城島げんきかん) 13:30～15:00	4月19日(水)	10月18日(水)	城島総合支所 市民福祉課内 TEL 0942-62-2112 FAX 0942-62-3732
		6月14日(水)	12月20日(水)	
		8月24日(木)	H30年2月14日(水)	
	三潯生涯学習センター 10:00～11:30	5月18日(木)	11月16日(木)	三潯保健センター TEL 0942-64-2412 FAX 0942-65-0957
		7月13日(木)	H30年1月25日(木)	
		9月22日(金)	3月22日(木)	

「ゆったり子育て相談会」の他にも、保健所や各保健センター窓口などで、健康や育児、食事や食物アレルギーに関する相談をお受けしています。お気軽にご相談ください。



健康なつとく相談

こんな悩みを保健師に相談してみませんか？

▽健診で「コレステロールが高い」「血圧に注意！」って言われたけど、何に気をつけたらいいの？

▽子どもの身長や体重の発育が気になるなあ。気軽に計測や相談ができる場があったらいいなあ…。

生活習慣病予防や健康づくりに関する相談、お子さんの身体計測や子育ての相談等に保健師が応じます。お気軽にご相談ください。

【対象】 久留米市民（どなたでも）

【費用】 無料

【会場】 裏面地図をご覧ください

希望する会場に電話、ファックスにてご連絡ください。

- ◎久留米市保健所地域保健課（商工会館4階） TEL:0942-30-9033 / FAX:0942-30-9833
- ◎南部保健センター TEL:0942-21-0056 / FAX:0942-21-0030
- ◎田主丸総合支所市民福祉課内 TEL:0943-72-2112 / FAX:0943-72-3819
- ◎北野総合支所本館1階 保健師事務室 TEL:0942-23-1307 / FAX:0942-78-6482
- ◎城島総合支所市民福祉課内 TEL:0942-62-2112 / FAX:0942-62-3732
- ◎三潯保健センター（三潯総合支所市民福祉課隣接） TEL:0942-64-2412 / FAX:0942-65-0957

【必要なもの】 健康手帳（お持ちの方）、健診結果票（お持ちの方）

乳幼児の保護者・妊婦：親子（母子）健康手帳

開庁時間：月曜日から金曜日まで（祝日、年末年始を除く） 8時30分から17時15分まで
久留米市保健所地域保健課・南部保健センターのみ、木曜日は19時まで



日頃の生活習慣を見直して、健康寿命を延ばしましょう。
お子さんの相談にも応じます。事前にご連絡ください。

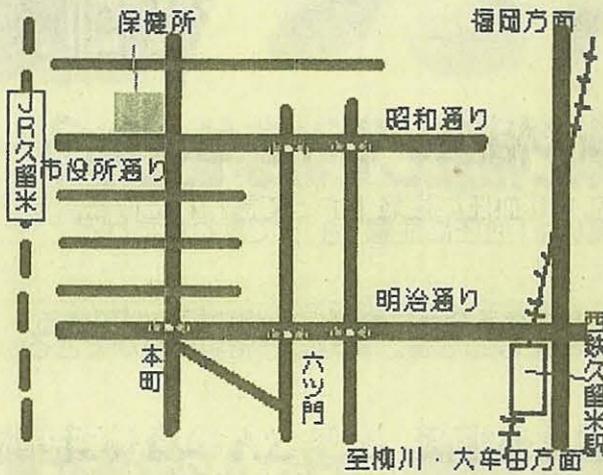
★健康寿命とは
健康上の問題で日常生活が制限されることなく
生活できる期間のこと

久留米市保健所 地域保健課
TEL 0942-30-9033
FAX 0942-30-9833

久留米市保健所

久留米市城南町15-5

*市役所本庁舎の駐車場のご案内
相談に車でお越しの場合は、
市役所駐車場をご利用ください。



北野総合支所

(本館1階 保健師事務室)
北野町中3245-3

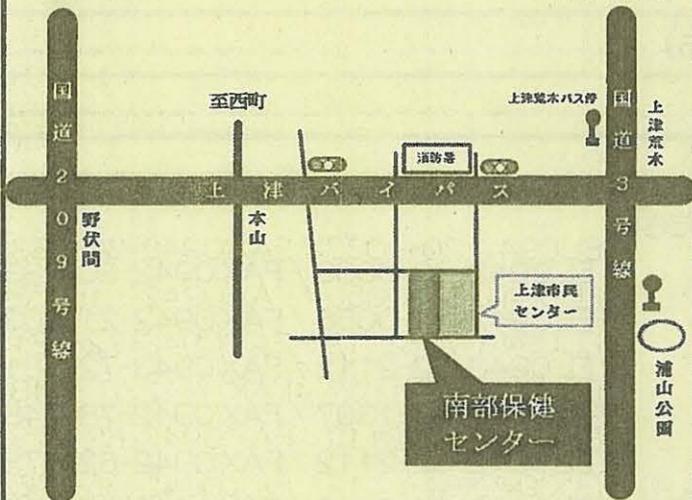


南部保健センター

上津1丁目13-22

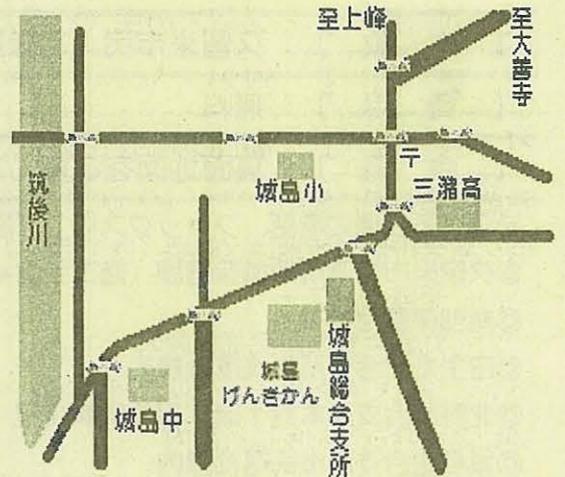
至久留米市街

至久留米市街



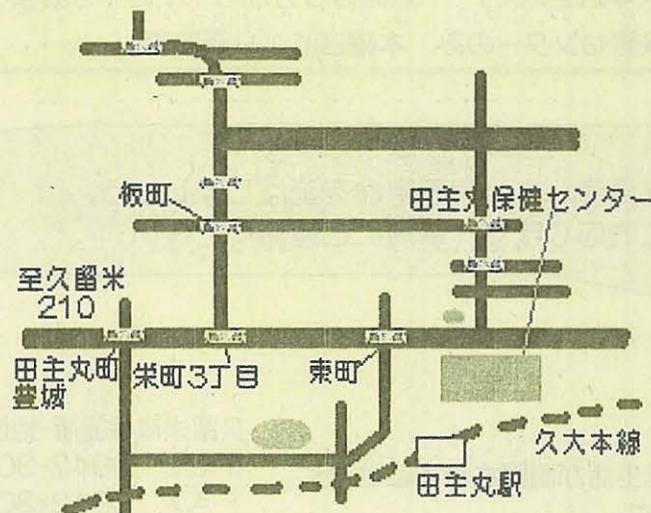
城島総合支所

(市民福祉課内)
城島町榎津743-2



田主丸保健センター

(田主丸総合支所)
田主丸町田主丸459-11



三瀬保健センター

(三瀬総合支所)
三瀬町玉満2779-1

